

『日本と同じ道?』～日本韓国間に見る東南アジア諸国への援助問題～

外国語学科ポルトガル語学科 3 年

A0056053 田邊洋太

要旨

先進国から発展途上国への援助。そのような援助には問題も多い。被援助に対し有意義なものとなっているのか…そんな中「南南協力」という、発展途上国から発展途上国への援助に注目が集まっている。先進国である日本の援助も、南南協力のような援助に見習うべきことがあるのではないかと。先進国から途上国への援助の解決のため、同アジア圏の新興援助国「韓国」と「日本」の援助の違いを、東南アジア諸国に対するアプローチの違いから調べてみた。

「日本からの援助」「南南協力への期待感」「韓国の援助」という 3 部構成で論をすすめていき、なぜ、「南南協力」に疑問を持ったかを述べていく。

問題点として、韓国は途上国ととらえていいのか…というものがあつた。

結果「韓国」の援助も「日本」のそれと同様、自国企業・政府に対しより望ましい状況をもたらすものでしかなく、「南南協力」の推奨を疑う結果となつた。また上記の問題点もあるが日本が韓国の援助に対し少なからず後押しをしていることは事実である。この動きは間違っているということ。そして、日本は世界最大の援助国として、新興援助国の援助を監督できるようにならなくてはならない。ということ強く主張したい。

参考文献

谷口興二 『台湾・韓国の海外投資の展開』アジア経済研究所 1990。

柳原透 『アジア太平洋の経済発展と地域協力』アジア経済研究所 1992。

大山道広 高梨和紘 『東アジアの国際交流と経済発展』文眞堂 1993。

佐藤元彦 平川均 『第四世代工業化の政治経済学』新鋭堂 1998。

国際協力推進協会 『わが国の政府開発援助』国際協力推進協会 2001。

木村かよ子 『アジア N I E S の対外直接投資』アジア経済研究所 2002。

http://www.jca.apc.org/unicefclub/resarch/2000_oda/oda_5.htm

<http://members.tripod.com/~seiji/unicef/kouken.htm>